

宮城教育大学 (宮城県)



地域と学校で日本語・日本文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色及び概要：小さな総合大学

1) 歴史と特色

宮城教育大学は、日本の東北地方、仙台市にある教員養成大学です。学部、大学院（修士課程）あわせて学生総数約1,600名の小規模な大学ですが、あらゆる分野の専門家を擁し、小さな総合大学とすることができます。大学全体の家庭的な雰囲気と優秀な指導体制は、大規模大学にない本学の特色となっています。仙台の街は緑ゆたかで、物価も比較的安く、文化施設も豊富で暮らしやすいです。留学生は世界各地から16名が学んでいて、教育の分野を中心として、帰国後は各方面で活躍しています。また、豊かな宮城の環境の中で、持続発展教育（ESD）とユネスコスクールの活動を推進していることで有名です。

2) 教員・学生数等

教授	准教授	講師	助手
67	35	4	2
附属学校教諭	養護教諭	栄養教諭	職員
89	4	1	77

学部生：1494 名 大学院生：116 名
(2017年9月1日現在)

② 国際交流の実績

大学間交流機関：8カ国・地域 10件

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2017年：留学生数18名、日研生1名

2016年：留学生数16名、日研生1名

2015年：留学生数32名、日研生4名

④ 地域の特色

・仙台市は人口100万人の、東北地方の中核都市です。大都市でありながらも自然と調和のとれた町です。多くの歴史のある大学が存在し「学都」として知られます。

・2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震により津波の深刻な被害を受けた沿岸部に対し、内陸部は比較的軽微な被害にとどまっており、地震以前の暮らしを取り戻しています。

・また、福島原子力発電所の事故による放射線数値にも顕著な上昇は見られず、仙台市は震災の復興の拠点としても機能しています。

■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修をおこなうもの

② コースの特色

宮城教育大学は、教員養成を目的とする大学で、その専門分野は、文科系・理科系から、芸術体育系まで幅広く

い分野にまたがっています。そのため、日本語・日本文化研修留学生は、日本語・日本文化関係の授業だけでなく、多様な講義を受講できます。少人数で密度の高い指導を受けることができます。留学生の諸行事を通じて、日本人学生との交流も活発です。さらに、ユネスコスクールを中心とする学校現場を訪問して、国際理解の活動をしたり、環境教育を中心とした持続発展教育（ESD）について学ぶことができます。

③ 受入定員

・8名（大使館推薦4名、大学推薦4名）

④ 受講希望者の資格、条件等

・日本語学習時間600時間以上相当の日本語力があることが望ましい。日本語・日本文化関係の学部・学科・専攻等に所属しているか、日本語・日本文化に強い関心を持ち継続的に学習していることが必要です。なお大学1年生については対象外としています。

⑤ 達成目標

- ・日本語の高い運用能力を身に付ける
- ・日本、日本文化への理解を深める
- ・日本語や日本文化に関連したテーマを調査する能力、調査結果を発表する能力を身に付け、成果を口頭発表、論文発表する。

⑥ 研修期間

2018年10月1日 ~ 2019年9月30日
修了式は実施しない予定です。

⑦ 研修科目の概要

・「日本語」だけでなく、関連科目も指導教員、授業担当教員と相談しながら履修でき、日本に関して総合的に学習できます。

1) 必修科目

・「日本語」-少人数で親切的な指導

・学習者のレベルにあわせて、上級または中級の10クラスを用意しています。他の国からの留学生とともに少人数クラスで学びます。

上級クラス（日本語学習歴900時間以上の者を対象） ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
上級1A	実践的読解・作文	1	15	15
上級1B	実践的聴解・発話	1	15	15
上級2A	論作文	1	15	15
上級2B	実践的論作文発表	1	15	15

中級クラス（日本語学習歴300時間以上の者を対象） ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
中級1A、2A、3A	聴解・発話	1	15	15
中級1B、2B、3B	読解・作文	1	15	15

「特別研究・論文作成」

指導教員の下で学習指導と論文指導を受けます。
(特別研究・必修2単位)

またその研究成果を論文としてまとめて提出します。
(修了論文・必修2単位)

特別研究・修了論文				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
特別研究	指導教員の下での研究・論文指導	2	-	
修了論文	研究成果のまとめ	2	-	

* 研究の成果の発表の場として「日本語・日本文化研究発表会（2019年7月）」、論文発表の場として、『留学生教育報告書 PHILIA』があります。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

国際理解教育活動

宮城教育大学は、仙台市の宮城県の教育委員会と協力して学校現場の国際理解教育活動を支援しています。留学生は、地域や学校現場で国際理解教育活動に参加して、自国文化を紹介したり日本文化を学んだりする機会があります。

ユネスコ・スクールと持続発展教育（ESD）

宮城教育大学は、ユネスコスクールネットワークの中心として、地域に30以上あるユネスコスクールと連携しています。また、宮城は国連から環境教育のモデル認定を受けた地域です（仙台広域圏RCE）。留学生は、ユネスコスクールを訪問したり、持続可能な開発のための教育（ESD）について学んだりすることができます。

3) その他の講義、選択科目等

専門に応じて、学部開講の関連する授業を履修し、単位を取得することが可能です。（以下は選択科目として考えられる一例です。）

他選択必修科目（日本語学習歴600時間以上の者を対象）の例 ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
比較日本文化論	日本文化を海外の文化と比較しながら考察	2	15	
多文化理解入門	日本国内の多文化化の現状や課題について学ぶ	2	15	
日本語教育概論	日本語教員としての基礎的な知識や技能を学ぶ	2	15	
国語理解	国語の教科書を分析し、表現する力を身につける	2	15	
日本の言語と文化	日本語のしくみについて、基本的な性質を学ぶ	2	15	
書道演習	書道の用筆方法を学ぶ	2	15	
工芸基礎	工芸の基礎的技術の収録	2	15	
日本の芸能	日本古来の民族芸能を学ぶ	2	15	

こうした学部開講の授業を受講する場合には、一般的に600時間以上の日本語を学習していることと、あらかじめ授業担当教員に相談することが必要です。

⑧ 年間行事

本学には多くの留学生関係行事があり、参加を募っています。

行事名	内容
春期研修（5月）	震災学習、地域住民との交流。
実地見学研修（7月）	日本国内で研修旅行に行き、日本文化を体験。
グローバルカフェ（10月）	大学祭で、お国の飲み物・お菓子を出す喫茶店を出店。
日本語スピーチコンテスト（12月）	日本語学習の成果をコンテストで披露。
留学生を囲む会（12月）	留学生を中心に教職員と日本人学生との懇談。
冬季研修（2月）	東北固有の冬の自然・文化を体験。

⑨ 指導体制

1) 留学生部会委員

委員の氏名	所属講座	連絡先	
		@staff.miyakyo-u.ac.jp	+81-22-214
高橋亜紀子	日本語教育	akiko12	3371
市瀬 智紀	日本語教育	ichinose	3381
田中 良英	社会科教育	y-tanaka	3384
西原 哲雄	英語教育	Nisihara	3489
越中 康治	学校教育	etchu	3519
リース・エイドリアン	英語教育	adrian	3488

留学生部会は、留学生の生活や学習面でのサポートをします。困ったことがあれば、何でも相談できます。

2) 指導教員と日本人チューター

指導教員が、主に研究指導・論文指導を行います。また、日本人チューターから宿題や、日常会話を通じた日本語力の向上等を手伝ってもらうことができます。

⑩ コースの修了要件

修了には、日本語科目を含む10単位以上を履修した上で、指導教員の下で研究活動を行い、その研究成果を修了論文としてまとめて提出することが必要です。また、履修した科目は、単位を認定し、「成績証明書」を交付するので、それらを母国での単位認定に利用することができます。

■ 宿 舎

東北大学国際交流会館への入居を予定しています。
(<http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/?pg=130515141317>)

しかし、近年交流会館が満室のため、入居が難しくなっています。その場合、民間アパート（月家賃約6万）や、学生寮（2名1室/月額約2万）等に入居する必要があります。

宿舎入居状況

年度	宿 舎
2017年度	東北大学国際交流会館：10名
2016年度	東北大学国際交流会館：0名 民間アパート：4名
2015年度	東北大学国際交流会館：0名 民間アパート：5名

■ 修了生へのフォローアップ

多くの留学生が、修了後もインターネットを通じて、指導教員、留学生部会委員から継続して日本語等の学習指導を受けています。また、さらなる日本での勉強の継続を希望する留学生には進路相談に応じます。

■ 問い合わせ先

宮城教育大学教務課大学院教務係（留学生担当）

住所 〒9800845

宮城仙台市青葉区荒巻字青葉149

TEL +81-22-214-3654

FAX +81-22-214-3621

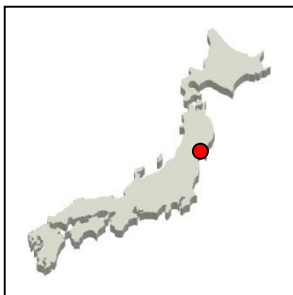
E-mail ryugaku@adm.miyakyo-u.ac.jp

大学のホームページアドレス：

<http://www.miyakyo-u.ac.jp/index.html>

留学生のためのホームページアドレス：

<http://ryugakusei.miyakyo-u.ac.jp/index.html>



Miyagi University of Education (Miyagi Prefecture)



Study Japanese in the district and Schools

■ Introduction to the university

① General Guidance of the university

(1) Characteristics and History

Miyagi University of Education (MUE) is a teachers' college in Sendai City in the Tohoku district. Sendai has an abundance of nature, and the cost of living is low. The total population of our university is about 1,600 students including undergraduate and graduate schools (master's courses). We have specialists in all fields. A homely atmosphere and excellent instruction system are special features of our university. Now 16 international students are studying in this environment. Our university is also famous for promoting UNESCO School network and Education for Sustainable Development

(2) Total number of teachers and students

Professors	Associate Professors	Lecturers	Research Associates
67	35	4	2
Teachers at Affiliated schools	School Nurses	Nutritional Health	Officials
89	4	1	77
Undergraduate Students			1494
Graduate Students			116

(2017.9.1)

② International Exchange

Overseas Partner Institutions :
10 institutions (8 countries / districts)

③ Number of International Students

- Y2017 : 18 (1 student from this program)
- Y2016 : 16 (1 student from this program)
- Y2015 : 32 (4 students from this program)

④ Characteristics of Sendai City

- Sendai is a city with a population of one million, and is the political, economic, and academic center of Japan's Tohoku (northeast) Region. Because many established universities are located in Sendai, it is famously known as the "Gakuto-Academic City".
- The Sendai coastal area was hit by a massive tsunami caused by a big earthquake on Mar. 11th 2011. However, damage in the inland area, including the heart of Sendai City and MUE, were relatively small.
- People's life is back on track again.
- The Fukushima Nuclear Accident doesn't severely influence Sendai, which is well within the safe zone. The city works as the FOB (Forward Operation Base) for resilience from damages in the coastal Tohoku region.

■ Outline of the course

① A Goal of this course

A course intended mainly to improve Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture

② Characteristics of this course

- MUE trains teachers. We have a variety of majors such as Liberal Arts, Natural Science, Gymnastics and Art. Japanese and Japanese Culture Training Course students can attend various lectures including such courses. Moreover, students can receive high quality education in small classes and attend many cultural exchange activities with Japanese students.
- Since our university has a network of UNESCO schools, students can acquire hands-on
- experience of attending cultural exchange activities and studying through the Education for Sustainable Development (ESD) program.

③ Number of students to be accepted

- Eight students each year (Four by University Recommendation, Four by Embassy Recommendation)

④ Eligibility of applicants

- Applicants are requested preferably to have studied Japanese for over 600 hours. Applicants must be enrolled in courses or programs for studying Japanese language or Japan. Students in the first year of university are not eligible.

⑤Goals

- To acquire high Japanese language proficiency
- To deepen Japan/culture understanding.
- To acquire research skills on a Japan-related theme and presentation skills on it.

⑥Period of the course

- From October 1, 2018 to September 30, 2019.
- There will be no Graduation Ceremony.

⑦Overview of the classes

- Students can comprehensively study Japan-related subjects. Teachers can give advice when choosing classes.

(1)Japanese language education (Compulsory)

- According to the student's level, there are 10 classes from advanced to intermediate levels. The course runs for one year, and students can learn with a small number of foreign students.

Intermediate Class (For students who have studied Japanese over 300 hours.)

• 1 class hour:90 minutes

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Middle-class 1A,2A,3A	Speaking and Listening	1	15	15
Middle-class 1B,2B,3B	Reading and Writing	1	15	15

Upper Class (For students who have studied Japanese over 900 hours.)

• 1 class hour:90 minutes

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Upper-class1A	Practical Speaking and Listening	1	15	15
Upper-class1B	Reading and Writing	1	15	15
Upper-class2A	Composing a paper	1	15	15
Upper-class2B	Practical paper presentation	1	15	15

(2) Research activity/Final report(Compulsory)

- Students research a Japan-related theme with the assistance of their Advisory Teacher for 1 year, and write a final report as a research outcome for submission.

Research Activity,Final Report

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Research Activity	Research activity with the assistance of Advisory Teacher for one year	2	-	-
Final Report	Research outcome Paper	2	-	-

- Students will give a presentation on their research at “The Japanese Cultural Studies Exhibition (July, 2019).” They will write a “Foreign Students’ Educational Report”.

(3) Field Study

- Our university supports international understanding educational activities. Foreign students have the opportunity to participate in international understanding educational activities.

(4)UNESCO school and ESD(Education for

- Sustainable Development)
- MUE collaborates with more than 30 regional UNESCO schools as a center of the UNESCO school network. Miyagi Prefecture has been certified as a model by the U.N. because of its rich environmental resources. Students can access these resources and learn ESD.

(5)Special subjects (selection)

Examples of Special subjects

(Students can select subjects depending on their Japanese ability)

• 1 class hour:90 minutes

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Comparative Studies in Japanese Culture	Comparing Japanese culture with foreign cultures	2		15
Introduction of Multiculturalism	Learn about the present conditions and a problem of many enculturation in Japan	2		15
Introduction of Japanese Education	Learn the basic knowledge and skill as the Japanese teacher	2		15
Reading and comprehension	Analyze a textbook of Japanese language and acquire power to express	2		15
Language and Culture in Japan	Learn a basic property About Japanese structure	2	15	
Calligraphy : Seminar	Fundamental techniques in calligraphy	2	15	
Handicrafts Basic	Foundations of Japanese folk dance and drums	2	15	15
Japanese Folk Dance and Drum	Foundations of ceramic art	2	15	15

- Students can select subjects depending on their Japanese language ability if they have already studied more than 600 hours.
- It is necessary to get permission in advance from the lecturer of the subject you want to choose.

⑧Events

- There are many pleasant events to be offered

Name	Date	Contents
Spring training	May	Getting into nature and enjoying Japanese culture.
Practical visit training	July	Short trip to Japanese Traditional spots.
Global Cafe	October	Foreign students open one-day cafe.
Japanese speech contest	December	Foreign students speak about their experience in Japan.
Year end's party	December	Join a party for foreign students, Japanese students and the staff of the university.
Winter training	February	Snow trekking and visiting a hot spring resort.

⑨Teaching system

(1) Foreign student committee

- The committee support students in every aspect.

(2) Supervising professor and tutor of Japanese students.

⑩Requirements for completion

- The requirements for completion of this course are to obtain more than 10 credits including at least 1 Japanese language credit, and submit a final research paper. Through the results certificate, the credits earned at MUE will be transferred to the students' home institution.

■Housing

- Students will live in the international student house of Tohoku University. See below.
<http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index-e.cgi?pg=130527113858>
- But recently, it gets tougher to secure rooms in it.
- In this case, a private apartment (¥60,000/average rent) or Student Dorm(¥20,000/average rent) will be offered. One room shared by two persons)

Year	Housing
2017	10 (International Student House of Tohoku University)
2016	0 (International Student House of Tohoku University) 4 (private apartment)
2015	0 (International Student House of Tohoku University) 5 (private apartment)

■Caring Graduates

Many former students have been taught by the Supervisor and Foreign students committee even after finishing the course. If they want further their academic career in Japan, they can consult with the Supervisor and Foreign students committee.

■Inquiries

International Exchange Section

Address: 149 Aramaki-aza Aoba, Aoba-ku Sendai City, Miyagi Pref, Japan 9800845

Phone: +81-22-214-3654

FAX: +81-22-214-3621

E-mail: ryugaku@adm.miyakyo-u.ac.jp

Miyagi University of Education home page:

<http://www.miyakyo-u.ac.jp/>

Home page for foreign students:

<http://ryugakusei.miyakyo-u.ac.jp/index.html>

Foreign student committee	Affiliation lecture	Contact	
		@staff.miyakyo-u.ac.jp	+ 81-22-214-
Akiko TAKAHASHI	Japanese Language Education	akiko12	3371
Tomonori ICHINOSE	Japanese Language Education	ichinose	3381
Yoshihide TANAKA	Social Studies Education	y-tanaka	3384
Tetsuo NISHIHARA	English Language Education	nisihara	3489
Koji ETCHU	School Education	etchu	3519
Adrian LEIS	English Language Education	adrian	3488